

平成28年度第1回  
高松市美術館協議会資料

平成28年8月16日

高松市創造都市推進局  
文化・観光・スポーツ部  
美術館美術課

# 目 次

## 平成27年度事業報告

1 高松市美術館	
(1) 展覧会・貸館	2
(2) 講演会・講座等	3
(3) 芸術的催し物	6
(4) 施設の提供	6
(5) 美術資料の収集	6
(6) 美術館ボランティアの活動	8
(7) 高松市美術館サポートショップ事業	8
(8) 高松市美術館改修事業	8
2 高松市塩江美術館	9

## 平成28年度事業計画

1 高松市美術館	14
2 高松市塩江美術館	17
3 平成28年度予算	19

# 平成 2 7 年度事業報告

## 平成27年度事業報告

### 1 高松市美術館

#### (1) 展覧会・貸館

平成28年3月下旬まで改修工事のため休館していたが、特別展として、市内2会場にて4つの「おでかけ」コレクション展を開催し、当館の優れた所蔵美術作品を鑑賞する機会を設けたほか、リニューアルオープン記念事業として特別展を開催した。

開催展数： 5展（主催展のみ）

開催延日数： 85日間

入場者数： 4,830人（1日平均 57人）

#### ア 特別展

展覧会名	会期	日数	入場者数	内容
高松市美術館 コレクション展1 会場：香川県文化 会館	(前期) 5/20～5/31	12日	511人	「戦後日本の版画」 池田満寿夫や横尾忠則ら、戦後に活躍した日本人アーティスト9人による版画・ポスター作品63点を紹介。
	(後期) 8/2～8/16	15日	881人	「トリックと反復」 視覚の罠を巧みに利用したトリック的作品や、反復により特異な視覚体験をもたらす作品36点を展示。
高松市美術館 コレクション展2 会場：高松市歴史 資料館	(前期) 6/6～7/12	32日	415人	「ひとのかたち ゼロ年代以降の現代アートを中心に」 2,000年以降に制作された現代アート作品24点により、身体をめぐる多彩な表現を紹介。
	(後期) 7/18～8/9	20日	698人	「とびだせ！いきものずかん 讃岐漆芸と現代アート」 讃岐漆芸と現代アートあわせて約50点により、多彩ないきものの表現を紹介。
リニューアルオープン記念「高松市美術館コレクション展—いま知りたい、私たちの現代アート」	3/26～3/31 (会期～4/7)	6日	1,325人 (内覧会34人含む)	リニューアルオープンを記念して、質・量ともに日本屈指となった当館の現代美術コレクションから作品約110点を精選して紹介。多層な現代美術の魅力と表現の広がりをお楽しみいただくもの。
5 展覧会		85日	4,830人	

#### イ 常設展

平成28年3月下旬まで改修工事による休館のため、常設展の開催なし。

ウ 貸館

平成28年3月下旬まで改修工事による休館のため、一般展示室・企画展示室の貸館はなし。

■市民ギャラリー

展覧会名	会 期	日数	入場者数	内 容
高松油彩美学展	3/26～3/31 (会期～4/3)	6日	1,330人	油彩作品の展示

(2) 講演会・講座等

特別展の開催に併せてワークショップ等を開催することでリニューアルの告知を図るとともに、リニューアルオープンを記念したトークショーやコンサート等のイベントを開催した。

ア リニューアルオープン記念事業

開 催 日	講師又は出演者	内 容	場 所	参加者数
3月25日(木)	石田尚志(美術家)、 藤本由紀夫(美術家)、 山本圭太(照明家)	前夜祭「映像パフォーマンス」	市美術館 エントランスホール	100人
3月26日(土)	千住真理子 (ピアノ：山洞智)	千住真理子ヴァイオリンコンサート	市美術館 エントランスホール	220人
3月27日(日)	山下裕二(明治学院 大学教授)、山口晃 (美術家)	記念講演会「戦後美術史放談会」	市美術館 1階講堂	160人
3月31日(木)	金沢 健一(美術家)	金沢健一「音のかけらパフォーマンス」	市美術館 中2階	100人
合 計				580人

イ ワークショップ

開 催 日	講 師	内 容	場 所	参加者数(対象)
6月13日(土)	できやよい (美術家)	うちわに絵を描こう!	サンクリスタル 高松3階第1集会室	20人 (未就学児～大人)
7月25日(土)	稲崎栄利子 (美術家)	やきものでいきものオブジェをつくろう!	サンクリスタル 高松3階第1集会室	13人 (未就学児～大人)
7月26日(日)	Yummydance (ダンサー)	みんなでつくろう!いきもの体操	サンクリスタル 高松3階第1集会室	16人 (未就学児～大人)
10月31日(土)	谷由貴 (芸術士)	はじめてアート・色で遊ぼう!	IKODE 瓦町(瓦町FLAG8階)クリエイティブルーム	14人 (年少～年長)

11月28日(土)	大野香織・橋本千代美(作業療法士・かがわ総合リハビリテーションセンター)	トーク&ワークショップ「アートを使ったリハビリを体験しよう！」	IKODE 瓦町(瓦町 FLAG8 階)クリエイティブルーム	11人 (小学生以上)
12月6日(日)	幅允孝(ブックディレクター・有限会社バツハ代表)	トーク&ワークショップ	サンクリスタル高松3階第1集会室	27人 (中学生以上)
3月5日(土)	福井秀巳(画家)	こども+開室記念ワークショップ「看板を作ろう！」	高松丸亀町三町ドーム	300人 (フリー参加)
3月26日(土)	藤本由紀夫・杉山知子(美術家)	ワークショップ「四次元の読書会」	市美術館美術図コーナー	16人 (中学生以上)
3月29日(火)	太田絵美子、松野礼子、岩佐百合子(芸術士)	芸術士ワークショップ「カラフルなエアドームをつくろう！」	市美術館エントランスホール	19人 (4~5歳児)
3月31日(木)	金沢健一(美術家)	金沢健一ワークショップ「音のかけらとあそぶ」	市美術館中2階	9人 (小学3年生以上)
合 計				445人

#### ウ 出前講座

開催日	講師	内容	開催場所	参加者数
8月12日(水)	当館学芸員、ボランティア civi メンバー	アートで遊ぼう！	浅野児童クラブ	68人
10月24日(土)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう！	一丁地いきいきサロン	11人
11月14日(土)、21日(土)、28日(土)の3回	当館学芸員ほか	生涯学習カレッジ「アートで心も体もリフレッシュ」	生涯学習センター(まなびCAN)	延べ36人
2月16日(火)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう！	成合東自治会	20人
合 計				135人

エ アートで遊ぼう！

鑑賞教育の充実を図るための鑑賞プログラム「アートで遊ぼう！」を実施し、ゲームや遊びを取り入れながら、当館学芸員とともに美術作品を鑑賞した。

開催日	講師	内容	開催場所	参加者数
12月19日(土)	当館学芸員	雪を降らせよう！	IKODE 瓦町（瓦町 FLAG8 階） クリエイティブルーム	16人
1月30日(土)		虹と遊ぼう！		8人
合 計				24人

オ 美術館学習等

サンクリスタル学習と連携した美術館での鑑賞・施設学習は、平成28年3月下旬まで改修工事による休館のため、実施なし。

カ 美術館の日

平成27年度は改修工事による休館のため、実施なし。

キ 学校との連携事業

開催日	出席者	内容	開催場所	参加者数
7月29日(水)	中学校美術教師、当館学芸員	香中研高松支部美術部会夏季研修会	サンクリスタル高松3階第1集会室	40人
10月31日(土)	美術教師、当館学芸員等	学校と美術館の連携ワーキンググループ会	IKODE 瓦町（瓦町 FLAG8 階）クリエイティブルーム	10人
11月28日(土)	美術教師、当館学芸員等	学校と美術館の連携ワーキンググループ会	IKODE 瓦町（瓦町 FLAG8 階）クリエイティブルーム	10人
12月19日(土)	美術教師、当館学芸員等	学校と美術館の連携ワーキンググループ会	IKODE 瓦町（瓦町 FLAG8 階）クリエイティブルーム	8人
合 計				68人

ク 美術館友の会イベント

平成27年度は改修工事による休館のため、実施なし。

### (3) 芸術的催し物

#### ア エントランス・ミニコンサート等

平成27年度は改修工事による休館のため、実施なし。

#### イ 美術館友の会等との共催によるエントランスホール催し

平成27年度は改修工事による休館のため、実施なし。

### (4) 施設の提供

平成28年3月下旬まで改修工事のため休館しており、リニューアルオープンの3月26日より、美術図書コーナーが開室されたほか、美術館の講座室等を利用に供した。

施設名	利用回数等	利用人数
講堂	0回	0人
講座室	1回	10人
美術図書コーナー	6日	140人

### (5) 美術資料の収集

#### ア 収集の方針

収集対象を香川の美術と戦後の美術に大きく分け、香川の美術では伝統的な漆工と金工に重点を置いて収集し、戦後の美術としては、油彩画と彫刻を収集することとし、国内作家については、1945年以降の現代美術に的を絞り、外国作家は日本の戦後美術史の流れに多大な影響を与えた20世紀初頭から現代に至る作品を版画で系統的に収集した。

#### イ 美術資料等の収集

美術品の取得方針に基づき、当館に収蔵する美術品を計画的・系統的に購入したほか、寄贈による美術品の収集に努めた。また、二次資料として美術図書及び映像資料を継続的に収集した。

<美術品>

(単位：点)

区分		洋画	日本画	彫刻	工芸	書	計
平成27年度購入		8	0	1	1	0	10
平成27年度寄贈		0	0	0	0	0	0
平成27年度合計		9	0	0	1	0	10
累計		766	46	251	514	16	1,593
内訳	購入	627	24	223	390	12	1,276
	寄贈	139	22	28	124	4	317

<図 書>

(単位：冊)

区 分	購 入	寄 贈	除 籍	計	累 計
美 術 図 書	109	11	0	120	26,183
展 覧 会 図 録	0	104	0	104	17,616
合 計	109	115	0	224	43,799

■新規収蔵作品

区分	種 別	作 品 名 (制作年)	作 家 名
購入	油彩	中西夏之氏公開制作之圖 (2003)	山口 晃
		Death Song シリーズ (2009、2011、2015) 4点1組	青山 悟
		無題 (2013)	小西 紀行
		世界の根っこにある大事な唄 (2015)	浅井 裕介
	彫刻	青犬 (2015)	浅井 裕介
	油彩	CD(black-01, white-08, blue-01) (2012) 3点1組	八木 良太
		二本立て (2004)	依田 洋一朗
		簡易食堂(オートマツト) (2003)	依田 洋一朗
	映像	DJ JOHN CAGE & 200 OF THE 1000 WORLDWIDE DJS #1 (2014)	宇川 直宏
	工芸・金工	電蓄 (1935 頃)	山脇 洋二

## (6) 美術館ボランティアの活動

### ア 美術館ボランティア

市民の美術活動の支援と展覧会観覧者の利便を図るため、美術館ボランティアc i v i (シヴィ)を設置し、平成11年度から活動を行っている(27年度登録者数18人)。27年度は、特別展のギャラリートークのほか「しびのーと」Vol. 31、32の発行、ワークショップのアシスタントなどの活動を行った。

### イ ギャラリートーク開催実績

特 別 展	区 分	開 催 回 数	参 加 者
高松市美術館コレクション展1 会場：香川県文化会館	担当学芸員	2回	11人
	美術館ボランティア	6回	62人
高松市美術館コレクション展2 会場：高松市歴史資料館	担当学芸員	2回	26人
	美術館ボランティア	11回	75人
リニューアルオープン記念 「高松市美術館コレクション展—いま 知りたい、私たちの現代アート」	担当学芸員	1回	30人
	美術館ボランティア	1回	30人
合 計		23回	234人

## (7) 高松市美術館サポートショップ事業

会期中の特別展チケットの半券、又は有効期間中の定期観覧券(年間パスポート)を提示すると、参加店舗で割引などの特典を受けることができる高松市美術館サポートショップ事業を実施した。また、平成25年度からは、各サポートショップに「高松市美術館サポートショップ利用者割引券」を設置し、サポートショップ利用者がその割引券を美術館に持参すると特別展観覧料が割引になる相互割引制度を導入している。

## (8) 高松市美術館改修事業

平成25年3月に策定した高松市美術館改修基本計画に基づき、改修基本設計・実施設計を行い、27年1月から約1年間、改修工事のため休館し、28年3月26日にリニューアルオープンをした。

## 2 高松市塩江美術館

### (1) 展覧会

開催展数： 10展（内訳 企画7展・常設3展）

開催延日数： 543日間

入場者数： 11,954人（1日平均22人）

#### ア 企画展

展覧会名	会期	日数	入場者数	内容
「人人へのまなざし」 熊野俊一と小林正六	4/4(土)～ 5/10(日)	32日	421人	塩江町出身の熊野俊一と香川県内で創作活動を続けていた小林正六とが思い描いた、人人へのまなざしを約40点の作品で紹介。
「形から生まれたもの」 —香川の作家を中心に—	5/16(土)～ 6/28(日)	38日	503人	作家が自分自身の内面から沸きおこるものを表現した形、鑑賞者へ想像を促すような形、様々な形の作品を香川県在住、香川県出身の作家による立体・絵画25点を紹介。
高松市合併10周年記念 「四宮金一展」 —虚構と現実のはざまで—	7/4(土)～ 8/30(日)	50日	1,233人	高松市との合併10周年を記念し、高松市を拠点にして活動している四宮金一氏の50年余りの画業を振り返り、変形キャンバスを用いた独自の世界観で表現してきた作品25点を紹介。
塩江アートプロジェクト 長野由美展 eggs in wonderland	9/8(火)～ 10/12(月)	31日	745人	たまごでアートを表現する高松市在住の造形作家長野由美。たまごのフォルムが持つ魅力に引き込まれ、その世界観をインスタレーションで表現した作品を紹介。
Adam Weston —生命の鼓動—	10/30(金) ～ 12/13(日)	39日	1,819人	アダム・ウェストンは、2004年にニューヨークから香川に創作活動の拠点を移し、生命の神秘性をテーマにインスピレーションされた作品約25点を紹介。
20世紀の画家たち展 —版画を中心に—	1/10(日)～ 2/21(日)	37日	467人	当館コレクションの中から個性豊かに表現する20世紀の時代を代表する12人の画家たちの版画作品約20点を紹介。
讃岐の情景展	2/27(土)～ 4/10(日)	*29日	*670人	江戸から昭和にかけて描かれた讃岐の名所・旧跡を題材とした5人の版画作品33点を紹介。
合計		256日	5,858人	

\*次年度開催（日数区切り）

## イ 常設展

美術館の所蔵品のうち、テーマを設定して年間3回の入れ替えで展示。

展覧会名	会期	日数	入場者数	展覧会の内容
平成26年度 第3期 20th Anniversary SHIONOE Collection はじまりをめぐるⅡ	12/6(土) ～ 4/19(日)	*17日	*181人	開館20周年記念展「はじまりをめぐる」第2弾。コレクションから、熊野俊一が渡欧以前の初期作品を中心に、国内外アーティストの作品あわせて約30点を紹介。
平成27年度 第1期 風かおる情景	4/25(土) ～ 7/20(月・祝)	75日	1,020人	熊野俊一が描く渡欧先各地の風景画、新版画で境地を開いた川瀬巴水、植物の生態を版木で表現する池田利夫等、春から初夏をテーマに描いた作品約30点を紹介。
平成27年度 第2期 Memory in Shionoe 写真でたどる塩江の記憶	7/25(土)～ 11/30(日)	110日	3,542人	高松市合併10周年を記念して、塩江町の昔の様子が見える写真やアートレジデンス事業で参加者たちが残した作品などを紹介。
平成27年度 第3期 熊野俊一・池原昭治二人展 こころのふるさと	12/5(土)～ 4/17(日) 1/26～1/29 閉室	*85日	* 1,353人	高松市合併10周年を記念して、塩江美術館初代館長藤沢秋義著作『塩江の民話』に掲載している童画家池原昭治の挿絵原画と熊野俊一の西欧の冬の風景画あわせて約30点紹介。
合計		287日	6,096人	

\*前年度または次年度開催（日数区切り）

## (2) 美術講座

陶芸教室、風鈴作り教室、ワークショップ等の講座を開催した。

### ア ワークショップ等

タイトル	開催日	講師	内容	受講者数
カタタチサトと 美術館でおどる ～塩江美術館の内と外～	4/19(日) 15:00～17:00	カタタチサト	企画展に関連して、展示作品から受けるインスピレーションをもとに、からだを使ったダンスで表現体験をする。	9人
笑い玉を作ろう！	6/7(日) 10:00～12:00 13:00～15:00	山端篤史 (美術家)	企画展に関連して、陶土を使って玉を形づくり自分だけのオリジナルな笑いを表現した作品を制作。	延べ25人 (午前9人) (午後16人)
毛糸でアート	7/26(日) 13:00～15:30	四宮金一 (美術家)	様々な毛糸を使って線を描き、彩色を施すことにより違った視点からの作品制作。	17人
「四宮金一展」 ー虚構と現実のはざまでー アーティスト・トーク	7/5(日) 8/9(日) 13:00～	四宮金一 (美術家)	作家本人による作品制作などに関するレクチャー。	50人
デコたま！作ろう！	9/20(日) 13:00～15:00	長野由美 (造形作家)	たまごの殻にデコレーションを施した作品を制作。	21人

塩江アートプロジェクト 学校訪問ワークショップ	9/8(火) 9/15(火) 各 9:00~10:30	長野由美 (造形作家)	塩江アートプロジェクトの出品作家が、地元小学校を訪問してワークショップをとおして作家と触れ合う機会を提供。	塩江小学校 3年生 21人
第2期常設展関連 自然で描く光の絵	11/7(土) 13:00~14:30	宮脇慎太郎 (写真家)	フォトグラムという写真の焼き付け手法で、美術館周辺の植物を用いて作品制作体験。	6人
Adam Weston -生命の鼓動- アーティスト・トーク	11/8(日) 13:00~14:00	アダム・ウェストン (美術家)	作家本人による作品制作などに関するレクチャー。	48人
絵の具で遊ぶ Fun With Painting!	11/22(日) 13:00~14:30	アダム・ウェストン (美術家)	筆を使わずに手や道具による絵画表現制作。	17人
合 計				214人

#### イ 陶芸教室

タイトル	開催月日	講師	内 容	受講者数
風鈴づくり教室	8/2(日) 10:00~12:00 14:00~16:00	貴志 勉 (陶芸家)	陶土を使ってオリジナルの風鈴を制作。作品は焼成後、後日お渡しする。	27人 (午前20人 午後7人)
陶芸教室	10/3(土)、10(土) 17(土)、31(土) 11/14(土)、28(土) (各日 10:00~12:30)	田淵 太郎 (陶芸家)	全6回の日程で受講者を募り、基礎コースと経験者コースに分かれて陶芸作品を制作。	延べ54人 (各日9人)
合 計				81人

#### ウ 芸術的催し物

コンサートなど他分野におけるアートイベントを開催

タイトル	開催月日	料金	内 容	入場者数
テルミン&マトリョミンコンサート-空気の音色-	12月12日 (17:30~16:30)	500円 (小学生以上)	ロシアの電子楽器テルミンの演奏によるコンサート。定員80名	17人

### (3) その他

#### ア 貸館

##### 【企画展示室・ホール】

行事名	会 期	入場者数	内 容
植松昭二作品展 花はどこへ行った	10/20～10/25	680 人	メタル彫刻やテラコッタ作品約 36 点を紹介。 主催：バラの彫刻展実行委員会(植松昭二)
戸田由美子写真展 インスピレーション	12/19～12/27	136 人	人物を被写体とした写真作品を紹介。

#### イ 美術館の日【 実施日：8月1日(土) 】

高松市美術館が昭和63年8月6日に開館したことに由来して、平成21年度から8月の第1土曜日を『美術館の日』と定め、美術館の観覧料免除や親子で楽しめるイベントなどを実施。

(ア) 入館者数及び参加者 242人

(イ) ワークショップ (子供から大人まで対象) 参加無料

行 事 名	内 容
砂絵で楽しもう！	カラフルな色砂を使って、A5サイズのボードに絵を描く作品制作。
枯れ枝でオブジェ！	美術館周辺で集めた枯れ枝などを使い、ボードの上でのオブジェ制作。
石ころでアート！	美術館近隣の石を使い、アクリル絵具で石に絵を描く作品制作。

#### ウ 美術資料の収集

##### (ア) 収集の方針

美術品の収集については、合併以前からの取得方針に基づき収集を行う。

- a 香川県出身で県内外にゆかりのある美術作品
- b 塩江にゆかりのある美術作品
- c 塩江に関する資料等

##### (イ) 美術資料等の収集

美術品の取得方針に基づき、当館に収蔵する美術品を計画的・系統的に購入したほか、寄贈による美術品の収集に努めた。現在まで約1,200点を収蔵している。

#### ■収蔵品 (平成28年3月31日現在)

(単位：点)

区 分	洋 画	日本画	彫 刻	工 芸	書	その他	計
累 計	603	7	10	13	119	450	1,202
内 訳	購 入	46	0	4	7	0	58
	寄 贈	557	7	6	6	119	1,144

\*その他 (写真・熊野俊一資料・藤澤東咳関連書籍・芸術祭作品)

# 平成28年度事業計画

## 平成28年度事業計画

### ～平成28年度美術館の運営方針～

「高松市立美術館運営方針」に基づき、「市民を始め、国内外の人々に親しまれ創造性あふれる美術館づくり」と「美術館の効率的な運営」を柱とし、美術館運営の改善に取り組み、美術館の活性化を図る。

高松市美術館は、平成28年3月26日のリニューアルオープンを機に、より一層、市民に親しまれる美術館としての取り組みに努める。平成27年度策定した高松市立美術館運営方針に基づき、美術館運営の改善に取り組み、美術館の活性化を図ることを目的として、内外の優れた美術作品の展覧会の充実、系統的な美術品の収集を進めるとともに、ワークショップなどの、市民に親しまれる美術館としての取り組みに努め、教育普及にも一層力を注ぎ、子どもたちが豊かな感性を育むことができる取組の充実や、市民ニーズに沿った講座などの事業の企画に取り組むものである。

特に、中心商店街に近接した都市型美術館という立地条件を生かし、地域との連携の強化により、まちづくりと一体となった取組を進め、都市機能の向上に寄与する美術館を目指す。

また、高松市塩江美術館については、市街地の美術館に対し、国民保養温泉地に指定された塩江温泉を有する山あいの豊かな自然に恵まれた環境に立地する美術館という地域特性を生かした、芸術・文化を楽しむ空間作りを目指し、展覧会の充実や地域に根ざした取組を進める。

## 1 高松市美術館

### (1) 展覧会・貸館

#### ア 特別展

展覧会名	会期	日数	内容
瀬戸内国際芸術祭 2016 連携事業 リニューアルオープン 記念「高松市美術館コレクション展—いま知りたい、私たちの現代アート」	3/26～4/17 (但し、3/31 までは H27 年度会期)	17 日	リニューアルオープンに当たり、収蔵作品の総点数約 1,600 点の中でも、国内外での評価も高い、現代美術コレクションから作品約 110 点を精選して紹介。 戦後の日本の現代美術を通史的に見せると同時に、多層な現代美術の魅力と表現の広がりをも、本展覧会を通してお楽しみいただくもの。
オランダ・エッシャー財団所蔵「エッシャーの世界」	4/23～5/29	32 日	“トロンプ・ルイユ (だまし絵)” の画家として日本でも親しまれているオランダの版画家マウリッツ・コルネリス・エッシャー (1898-1972)。オランダのエッシャー財団が所有するコレクションから厳選した版画作品に加え、実際にエッシャーが使用した道具やスケッチや制作メモ等の資料合わせて 150 点で構成、展示。

瀬戸内国際芸術祭 2016 連携事業 「ヤノベケンジ CINEMATIZE シネマ サイズ」	7/16～9/4	51 日	1990 年代から現代に至るまで日本の現代アートをリードし続けるアーティスト・ヤノベケンジ (1965 生)。小豆島での展示など香川との関係も深いヤノベの四国における初の大規模個展。現実をフィクションやファンタジーのように変える、ヤノベの創造の軌跡を、シネマサイズ＝映画化という視点で再編する。初期から最新プロジェクトまでの実作の展示に加え、ドキュメンタリー映像の上映や映画の撮影も予定されており、美術館自体が映画的空間となる画期的な展覧会。
瀬戸内国際芸術祭 2016 連携事業 高松コンテンポラリー アート・アニュアル vol.05	10/8～1/6	30 日	瀬戸内国際芸術祭開催の 2010 年に、本格開催した「Vol.01」に始まり、今回の「Vol.05」は同祭 2016 秋会期と時期を同一にし、将来性のある美術家たちの多様な美術表現を紹介する。会期中、アーティストトークやワークショップなど予定。
奇才・ダリ版画展	11/12～12/18	32 日	20 世紀を代表する芸術家の一人サルバドール・ダリ (1904-1989)。本展は、円熟期から晩年にかけて制作された木版、銅板などの版画作品に彫刻作品を加えた約 200 点を展示し、ダリの創造した不思議な幻想世界を紹介。
北原千鹿展	2/21～3/26	30 日	高松出身の北原千鹿 (1887-1951) は、昭和初期に工芸グループ「无形 (むけい)」や「工人社」を結成し、工芸界に大きな足跡を残した。本展は、千鹿の初期から晩年に至る代表作約 60 点によって、その画期的な美の仕事を迎えるもの。
6 展覧会		192 日	

#### イ 常設展

展覧会名	会 期	日 数	内 容
第 1 期	4/21～6/19	52 日	(常設 1) 記憶と気配—2015 年度新収蔵作品から (常設 2) 蒔醬の系譜
第 2 期	6/25～9/11	75 日	(常設 1) ぎゅぎゅつと。集まれ、陶！ (常設 2) ひんやり、金工を愛でる
第 3 期	9/15～10/23	36 日	(常設 1) [現代の美術] 私たちの生きる時代を感じさせる戦後日本の美術、また、これに関連のある 20 世紀以降の世界の美術を順次展示。
第 4 期	10/26～12/25	54 日	(常設 2) [讃岐漆芸と金工] 玉椿象谷に始まる讃岐漆芸、北原千鹿を中心とする金工の流れを中心に展示。
第 5 期	1/5～3/26	69 日	※3/15～26 の期間は、常設展示室 1 において「第 3 4 回日本伝統漆芸展」を開催。
5 期		286 日	

ウ 講演会等の開催

主催特別展の開催に併せて、展示のテーマに沿った記念講演会やエントランス・ミニコンサートなどを開催する。

エ 貸 館

美術団体、個人や小グループ等の作品発表の場として、一般展示室・企画展示室および市民ギャラリー・講堂を提供する。

(2) 教育普及活動等

ア 美術講座

各種ワークショップ等を開催する。

(ア) ワークショップ

地元講師や県外講師によるワークショップを随時開催する。

(イ) 子どものアトリエ

美術作家による連続の美術講座を開催し、子どもたちに学校の図画工作の授業とはまた違った環境での美術体験を提供する。

(ウ) アートで遊ぼう！

学芸員とともに特別展を素材に作品を「じっくり見る」鑑賞プログラムを行う。

講 師	定 員	開 催 日 数	受講対象者
高松市美術館学芸員	各 15 人	前期 3 日 (5/3・6/4・7/23) 後期 3 日 (未定)	小学生

(エ) こども+ (こどもアートスペース)

リニューアルオープンにより新設された「こども+(こどもアートスペース)」を活用し、誰もが気軽にアートを楽しむことができるプログラム「ふらっとアート」などを提供する。

イ 施設の提供

美術館の講堂を講演会、コンサート等の会場に、講座室を創作活動の場として利用に供する。

ウ 美術館学習

美術館展覧会の鑑賞教育等学校活動分野への積極的な活用を図るために、サンクリスタル学習及び子ども未来館学習参加校のうち希望校を美術館でも受け入れる美術館学習を実施する。

(3) 美術館の日

多くの市民が集い、親しみ、にぎわう美術館となるよう、8月6日を美術館の日（8月第1土曜日）とし、観覧料の免除や親子で楽しめるイベントなどを実施する。

(4) 美術資料の収集・公開

美術品取得方針に基づき、美術館に収蔵する美術品の収集に努める。また、美術館の二次資料として美術図書および映像資料を継続的に収集するとともに、高松市収蔵品情報システムの活用等によりこれら収蔵資料の積極的な公開に努める。

## (5) 美術館ボランティアの活動

市民の美術活動の支援と展覧会観覧者の利便を図るため、美術館ボランティア（c i v i）によるギャラリートークを実施するとともに、子どものアトリエなどのワークショップの補助を行う。

## (6) 高松市美術館サポートショップ事業

商店街等周辺店舗と連携し、会期中の特別展有料観覧券の半券、又は有効期間中の定期観覧券（年間パスポート）を提示すると、参加店舗（平成 28 年度：147 店舗）で割引などの特典を受けることができ、また、美術館との相互割引を行う「高松市美術館サポートショップ」事業を実施する。

## (7) 自己評価システム

（公財）日本博物館協会の「博物館自己点検システム」を活用した美術館運営の自己評価について検討する。

## 2 高松市塩江美術館

### (1) 展覧会

#### ア 主催展

展覧会名	会期	日数	展覧会の内容
讃岐の情景展	2/27(土)～ 4/10(日)	*9日	江戸から昭和にかけて描かれた讃岐の名所・旧跡を題材とした5人の版画作品33点を紹介。
貴志勉 －土のしごと－	4/16(土)～ 5/29(日)	38日	“土を焼く”行為に意味を探し続ける東かがわ市在住の陶芸家貴志勉が土の持つ様々表情を表現した作品を紹介。
玉木かつこ －Silent scape－	6/7(火)～ 7/18(月)	37日	高知県を中心に活動する美術家玉木が、鉄と透明樹脂を主な素材として生み出す存在や時間・空間が意識された透明感のある世界観を作品約20点から紹介。
LANDSCAPE －徳島彫刻集団と香川との 交流－	7/26(火)～ 9/4(日)	36日	徳島で戦後すぐに屋外彫刻展を展開する彫刻集団と香川の造形作家の交流展を開催。
上西竜二 -Trial and Error-	9/10(土)～ 10/16(日)	32日	本物と見間違ふほどのリアリティをもった作風で知られる、岡山県在住の画家上西竜二の超写実的世界を紹介。
山なみ芸術祭 2016 －塩江町エリア「時と共に」	10/29(土)～ 11/13(日)	14日	2回目の開催となる山なみ芸術祭塩江エリアの展示作家の作品を紹介。
没後 20 年 市原輝士の足跡（仮）	12/3(土)～ 1/22(日)	39日	民俗学者として活動した故市原輝士の遺族協力のもと残された資料などから足跡を紹介。
未定	1/28(土)～ 2/26(日)	26日	
未定	3/4(土)～ 4/9(日)	*32日	

\*前年度または次年度開催（日数区切り）

イ 常設展

熊野俊一作品や川島猛作品など収蔵品の中から、展示テーマを設け、年3回の展示替えにより紹介する。

ウ 教育普及活動等

陶芸教室、風鈴づくり教室に加えて、企画展に合わせたワークショップ等を開講する。

タイトル	開催月日	講師	内容
風鈴づくり教室	7/17	貴志 勉 (陶芸家)	陶土を使ってオリジナルの風鈴を制作。作品は焼成後、後日お渡しする。
陶芸教室	5/14・21・28・ 6/11・25・7/16	田淵 太郎 (陶芸家)	全6回の日程で受講者を募り、基礎コースと経験者コースに分かれて陶芸作品を制作。

エ 芸術的催し物

企画展に関連したコンサートや公演を開催する。

オ 貸館事業

美術団体、個人や小グループ等の作品発表の場として、企画展示室・ホールを提供する。

行事名	会期	内容
三原敏文ほか 二人展 (仮)	10/18～10/23	彫刻と絵画の作品を紹介。
戸田由美子写真展 (仮)	11/19～11/27	人物を被写体とした写真作品を紹介。

カ 美術館の日

多くの市民が美術館に親しみ、子供たちに豊かな心を育んでもらえるよう8月6日を美術館の日(8月第1土曜日)とし、観覧料の免除や親子で楽しめるイベントなどを実施する。

行事名	内容	
ワークショップ シャボン玉アート	①シャボン玉を飛ばそう!	大きなシャボン玉や壊れないシャボン玉を飛ばして色彩の美しい世界を体験。
	②シャボン玉で描く!	色付きのシャボン液を使って、紙の上で模様を描く作品制作。

### 3 平成28年度予算

#### (1) 歳入

(単位：千円)

区 分			28 年度	27 年度	対前年比
使用料及び 手数料	使用料	美術館展覧会等観覧料	34,646	1,183	2928.7%
		リニューアルオープン記念事業展覧会等観覧料	1,248	1,250	99.8%
		美術館使用料	12,981	3,223	402.8%
	手数料	美術品等撮影許可手数料	28	28	100.0%
財産収入	財産運用収入	基金運用収入	2	2	100.0%
	財産売払収入	物品売払収入	2,270	1,280	177.3%
諸収入	雑入	社会教育費収入	3,248	3,627	89.6%
繰入金	基金繰入金	施設整備基金繰入金	0	50,000	—
市債	市債	美術館施設整備債	0	1,402,400	—
計			54,423	1,462,993	3.7%

#### (2) 歳出

(単位：千円)

区 分	28 年度	27 年度	対前年比
美術館運営費	99,998	90,173	110.9%
美術館管理費	106,736	95,469	111.8%
美術館整備費	0	1,519,694	—
展覧会費	78,146	14,235	549.0%
美術教育普及費	1,691	1,067	158.5%
美術資料収集費	23,619	21,984	107.4%
塩江美術館美術品等取得基金積立金	2	2	100.0%
リニューアルオープン記念事業費	3,372	17,737	19.0%
計	313,564	1,760,361	17.8%

※職員の給与を含む。